



学校名・報告者	稲沢市立稲沢西小学校 M・K	活用項目	2 図画工作
具体的活用例	カメラと画像編集機能を活用した風景画の授業（6年「わたしの大切な風景」）		
<p>○ タブレットのカメラ機能を使って、自分にとっての大切な校内の風景の写真を撮らせた。自分の思いが表れるような構図にするために、視点や向きなどを工夫するように助言した。</p> <p>○ 数枚撮ったのち、SKYMENUの「教材・作品」から画像を複数枚並べて表示させ、どの構図が自分の思いが伝わるかを検討させた。2枚や4枚を同時に見比べることができ、自分の思いに合った構図を選ぶことができていた。</p> <p>○ 構図が決まったら、SKYMENUの「教材・作品」から撮影した写真をトリミングしたり、明度を変更したりして、より自分の思いが伝わるように画像を編集させた。納得がいかなければ何度もやり直し、自分の思いに近づけようとする姿が見られた。</p> <p>○ 編集した画像を見ながら、画用紙に下書きさせた。また、彩色する際にも、タブレットの画像を見ながら色作りをさせ、できるだけ編集した画像に近づけられるよう、画用紙とタブレットの画像を比較しながら彩色させた。</p>			<p>【構図を考えながら撮影する様子】</p>
			<p>【撮った画像を比較している画面】</p>

学校名・報告者	稲沢市立国分小学校 N・M	活用項目	1 3年 音楽科
具体的活用例	Chrome music Lab の「KANDINSKY」を活用した音楽を形作っている要素を感じ取る授業		

楽譜を読むことや楽譜を書くことに抵抗のある児童は大変多い。また、楽譜上で音符が上下するのに伴って、音の高低が変化することや、楽器や奏法の違いによって音色が変化することを意識して音楽活動に取り組める児童も少ない。そこで、本アプリを使用して、視覚的にわかりやすく、楽しんで音楽づくりをし、ドレミを用いた五線譜の学習に入る前に「音楽」と「楽譜」が密接に関わっている事を理解させることにした。

<KANDINSKYの仕組み>

○はスカット（パパパ、アー、ウーなど）のように歌う。

△は打楽器の音。□はベースギターやマリンバの音。

適当に絵を描いても音楽になるが、○を書くと顔に変化し、スカット（パパパ、アー、ウーなど）のように歌う。△は打楽器、□などは楽器の音に変化する。楽譜と同じように左から右へと音楽は進んでいき、書いた位置によって音のなる位置が決まる。

KANDINSKY を使って、自分の描いた絵が、どのような音楽になるか気付いたことをワークシートに記入させた。児童は、○が顔に変化して歌うことに驚き、その動きなどが楽しいため終始笑顔で取り組んでいた。どの形を描くとどうなるかは伏せて活動させたため、「絵が左から動いた」とか「△がドーンって面白い音がした」など、新しい発見を児童同士で伝え合う姿が見られた。

<成果>タブレットを用いることで、誰にでも容易に操作でき、全員が楽しく取り組むことができた。

読譜を難解と感じる児童にとっては、導入の活動として、取り組みやすかった。



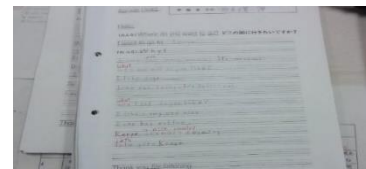
学校名・報告者	稲沢市立千代田小学校	活用項目	1・2 体育
具体的活用例	体育科の授業における動分析		
<p>○ 体育科の授業では、「体育の見方・考え方を働かせ、豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成すること」を目標としている。また、体育の見方・考え方は、「自己の適性等に応じた『する・見る・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」とされている。つまり、これからの体育科の学習では、運動『する』ことだけが目的ではなく、運動をすることが苦手でも、スポーツの指導者やトレーナーやドクター等として運動を『支える』関わり方の能力を向上させたいと考えた。</p> <p>○ 具体的な手立てとしては、6年体育の「走り高とび」の授業において、児童に一人一台タブレットを持たせ、いつでも自分のはさみ跳びのフォームを撮影できるようにし、その動画をスロー再生で確認できるようにさせた。また、言語で動作のポイントを伝えても理解できない児童が多いため、自分のフォームの動画と、NHK for schoolの「はりきり体育ノ介」に出てくる日本記録保持者のフォームの動画を、タブレット画面を並べて比較し、比較・分析できるようにさせた。</p> <p>○ 成果としては、動画を比較することで、児童の課題がはっきりするため、思考・判断力を高めることにつながるとともに、技能の向上にもつながった。また、動画をもとに友達にアドバイスしやすくなり、そのアドバイスにより友達の実力が上がる喜びを感じている様子が見られた。</p>			



学校名・報告者	稲沢市立下津小学校 M・H	活用項目	1 外国語
具体的活用例	小6 Unit3 Let's go to Italy. 行ってみたい国や地域とその理由を伝えよう。		
活動内容	<p>旅行業者になりきり、旅行プランのプレゼンテーションをおこなう。【『国』 is a nice country. You can see the 『名所』 . You can eat 『食べ物』 . You can buy 『特産物』 . それぞれに It's delicious/ nice/ wonderful などのリアクションスキルをいれる。また、Do you～?やWhat ～do you ～? などの疑問文をクラスの友達に聞く。】</p> <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション機能を使い、スライドを作る。 ・シナリオを考える。→学年で共有する→シナリオを再構成する。 ・学年で良くかけているシナリオを名前を消して、共有する。 ・作成したスライドを見せながらプレゼンテーションを行う。 <p>成果</p> <p>仲間のシナリオの良いところを吸収したり、シナリオを書き換えたことにより、スライドも数枚に増やして、発表する児童もいた。</p> <p>また、英語力とは別に、プレゼン能力の高い児童も出てきて、いつものパフォーマンステストよりも、子どもたちが表現力に自信をもてるようになった。</p> <p>会話とは違う伝わる工夫を考えることにより、声の大きさ・目くばせ・大きなジェスチャーについて工夫したり、伝えたいことを最初と最後にもってきて、ポイントの効率のよい伝え方を学んだりすることができた。</p>		

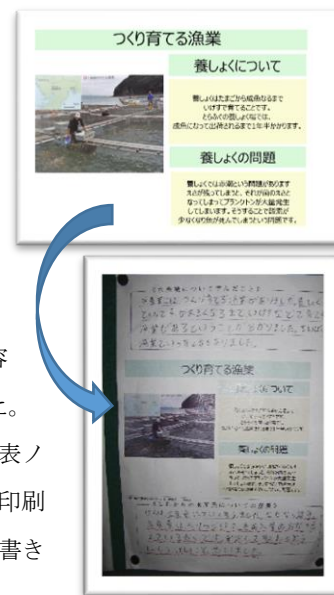



児童が作製したスライド



児童が作製したシナリオ

学校名・報告者	稲沢市立三宅小学校 B・H	活用項目	1・2 5年社会科
具体的活用例	発表ノートによる学習内容のまとめと、印刷によるアナログとの融合		
<p>○ 5年社会科「水産業のさかんな地域」の「プレゼンテーションソフトを使ってまとめる」という学習で、Sky menu classの発表ノートを活用した。教師が予めタイトル、サブタイトル、本文の枠を作成して、児童にシートを配付することにより、児童はレイアウトに迷うことがなく、必要な写真をカメラで撮影して空欄に取り込み、文字を入力するだけで良いので、短時間で作成できた。また、Sky menu classでは、キーボード入力と手書き入力を選択することができるため、児童が自らの得意不得意に応じて、入力方法を選択することができた。作成の際には、一人一人が、単元での学習内容を振り返り、発表の際には、提出された画面を拡大表示して、内容を共有しながら、どの視点で、どのような工夫や問題点があるのかについてまとめた。</p> <p>○ 発表後には、児童が提出した発表ノートをPDF化して、USBにコピーし、横長の発表ノートをあえてA4用紙縦に印刷した。それにより、上下部分に空白ができ、記入枠を印刷して、「水産業について学んだこと」や「これからの水産業についての意見」等を手書きで記入させ、掲示物として、長期間友達のことを知る場を作ることができた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの配付による作業の効率化 ・入力方法の選択制 ・拡大表示による発表での共有化 ・印刷によるアナログ（手書き）との融合 ・掲示物としての長期間の学習内容の共有化 			

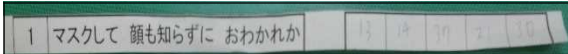



学校名・報告者	稲沢市立治郎丸中学校	活用項目	1・2 保健体育
具体的活用例	マット運動における動画遅延アプリやプロジェクターへの無線接続の活用		
<p>○ 器械運動（マット運動）の授業において、マットの横に定点でタブレット端末を設置し、動画遅延アプリを使用して撮影を行った。10秒前（時間設定は変更可能）の自分の動きを実技後、その場ですぐに確認させた。タブレット端末をプロジェクターに無線接続（ワイヤレスディスプレイアダプター）しておくことで、自分の動きを大画面（スクリーン・ホワイトボード・壁）で確認させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「運動→動きの確認→運動」のサイクルを効率よく行うことで、生徒はタイムラグなく自分の実技動画を瞬時に確認し、次の練習に生かすことができた。 ・ 撮影者や操作者がいなくてもタブレット端末を設置しておくだけで動画を撮影・確認ができ、生徒の運動量を確保することができた。 ・ プロジェクターと無線接続することで端末の切り替えや映す場所を自由に変更できるため、離れた場所で参考になる動きを映すことができた。 ・ 他の生徒の動きを見たり、自分と比較・分析したりする生徒の姿が多くみられるようになり、思考力・判断力・表現力を高めることにつながるとともに、技能の向上にもつながった。 			
		 	

学校名・報告者	稲沢市立稲沢西学校 O・K	活用項目	英語科
具体的活用例	スピーチ練習の動画撮影・ワークシートの写真提出		
<p>○ 英語科の授業では、パフォーマンステストを学期に数回行っている。特に、生徒の前で行う「発表」は相手に伝えることを意識させたい。そのため、練習の段階で友達にスピーチを見てもらい、相手に十分に伝えられていなければ、改善して本番に臨ませたい。しかし、コロナ禍のため話している様子を近くで見てももらうことも難しい状況である。そこで、タブレットを使って自分の発表練習を録画し、動画で友達に見てもらってアドバイスをもらえるようにした。</p> <p>方法：①動画を撮る ②発表ノートに貼り付ける ③グループごとにグループワークに参加させる④グループの仲間と動画を共有する ⑤友達の動画を見る ⑥アドバイスや良い点についてコメントを書き込む ⑦アドバイスを読んで改善する</p> <p>コロナ禍でも、本番前に友達に見てもらうことができ、自分が思っていた程伝えられていないことに気付いたり、友達の良いところを取り入れたりすることができた。グループワークにすることで、限られた時間でも自分のタブレットで友達の発表を見たり、意見を書き込んだりすることができた。</p> <p>○ 授業中に英作したプリントを写真で撮って提出させた。</p> <p>授業では、写真を生徒用タブレットに投影し、友達がどのような文を作ったかを確認したり、文法的に直すべきところを一緒に考えたりした。</p> <p>授業後には、写真で提出されたものを職員室で添削し、それをデータで返却して次の授業で確認・訂正させた。データで練習問題を配付することもできるが、1年生なので、まだキーボードで英語を打つよりも、手書きで取り組ませたい。書くことに慣れてきたら、データで配付したり、答えだけノートに書かせたりしていくことも考えたい。</p>			

学校名・報告者	稲沢市立大里東中学校	活用項目	1 英語
具体的活用例	タブレットの記録媒体（ビデオ）を用いた話すこと（発表）の技能の育成 検索サイトを用いた書くことの技能の育成		
<p>○ タブレットの記録媒体（ビデオ）を用いて、話すこと（発表）の技能の育成に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パフォーマンステストの前時の授業で、発表の様子をタブレットの動画機能で録画し、自分自身の発表を聞かせ、自己分析させた。 ・ 自分の発表の様子をペアでお互いに見せ合い、よりよい発表になるように、考えさせた。 ・ その後、教師が参考となる生徒の動画を学級の生徒に共有した。 <p>○ 検索サイトを用いて、書くことの技能の育成に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライティングの授業で、検索サイトやWeb上の辞書を用いて、自分の表現したい語を調べさせ、教科書の参考ページに紹介されている語にとどまらず、本当に自分自身が表現した文を書かせた。 			



学校名・報告者	稲沢市立平和中学校 K・M	活用項目	2 国語
具体的活用例	中学3年 タブレット端末を活用して「デジタル句会」を開く		
<p>一、出句・清記準備</p> <p>生徒の創作した俳句(作者名は書かない)を教師がエクセルに入力し、ランダムに並べ替えたものに通し番号を付けて一句ずつ短冊にし、誰の句がどこにあるのか、それが誰の句なのかが分からなくするようにした。</p>  <p>二、清記</p> <p>生徒に短冊を配布し、清記用の発表ノートに、短冊の番号と俳句とを入力させた。</p>  <p>三、選句・互選</p> <p>全員同じグループワークに参加させ、順番に俳句を鑑賞しながらよいと思った句を5つ選ばせた。Formsクイズを活用して、全ての俳句の中から、選句した5つの俳句を選択するアンケートに取り組みさせ、互選を行った。</p> <p>四、披講・名乗り</p> <p>互選の集計結果を生徒のタブレット端末に投影し、披講を行った。教師が若い番号から順に選句者が一人以上いる句について、選句数と俳句を読み上げた。読み上げられた俳句の作者は挙手をして自分が作者であることを皆に知らせ、教師が作者名と俳句に対するコメントを述べていった。</p> <p>五、成果</p> <p>タブレット端末の活用により、清記や選句、集計に掛かる時間を短縮して、1時間で句会を開くことができた。自分とは異なる感じ方や考え方、言葉の用い方に触れて、言語活動に対する興味や関心を高めることにつながった。</p>			